

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-156
補助事業名 平成24年度実践的研究を通じた人間力育成支援活動補助事業
補助事業者名 富士宮市立富士宮第二中学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本校特別支援学級において、作業学習、総合的な学習の一環として取り組んでいる「福ろう製作所」の活動は、障害を持った生徒たちの社会自立を目指して、幸せの鳥「ふくろう（不苦勞）」を題材としたカレンダーなどのオリジナル製品を製作・販売する活動を通して、多くの人たちとの交流の中から、コミュニケーション能力や対人関係力、働くことの喜びや厳しさを体験的に学ぶとともに、お金の生かした使い方（貯蓄、計画的な物品購入計画、金銭出納簿の記入、募金等の社会福祉的な活用など）を早くから身につけていくことを目的にしたものである。

(2) 実施内容

ア、合同学習会

自己紹介。平成23年度の活動報告（市内5校の特別支援学級の代表による報告）平成24年度の取り組みについて。作品の展示・東北支援の取り組みなどについて。



イ、集中作業実習・実演販売・校外活動販売

富士宮第二中学校にて擬似会社「福ろう製作所」を設立、市内5校の特別支援学級の生徒が集まり活動をした。季節商品の団扇作りを行った。額製品の完成。鼻カレンダーの部品づくり。富士宮市観光施設「ここずらよ」にて3年生を中心に実演販売を行った。



ウ、校外活動

「富士花鳥園」にて富士宮第二中学校特別支援学級3年生による実演販売を行った。



エ、夢ステージ

野外ステージにて群読「光の方へ」合唱「Forever」の発表を行った。販売活動を行い、用意した商品を完売することができた。



オ、社会貢献について取り組み

東北地域への贈り物について

福島県・宮城県・岩手県の特別支援学校にカレンダーを送る活動を行った。送料を捻

出するために学校全体でアルミ缶回収を行った。

福島県の養護施設の子供たちに図書券を送る活動を行った。収益金とアルミ缶回収金額から送料を引いた分の金額を合わせ、2つの養護施設に図書券を送った。



カ、合同学習会

<第一部> 福ろう製作所の活動報告を行った。

<第二部> 親子切り絵教室

生徒が講師になって切り絵を指導した。

「福ろう製作所」のこれからの活動について説明を行った。

キ、切り絵技能コンクール

生徒の切り絵の技能向上のため、コンクールを行った。

課題A：ひな壇つき夫婦雛 課題B：夫婦雛 課題は参加者の自己選択で行った。優勝者には、トロフィーと副賞 上位10位まで賞状を授与した。

(3位まで賞状・副賞)



2 予想される事業実施効果

働くとはどういうことであるのかを、体験的に学ぶことができた。自らの良さや、可能性、課題を見つける事ができた。豊かな生き方を目指していこうとする心構えや態度を育てることができた。

様々な人との関わりやふれあいから、時と場に応じた言葉遣いや、マナーなどの基本の定着を図るとともに、豊かな人間関係を築きながらコミュニケーション能力を伸ばすことに有効であった。

3 本事業により作成した印刷物等
特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 富士宮市立富士宮第二中学校（フジノミヤシツツジノミヤダニチュウガッコウ）

住 所： 〒418-0068

静岡県富士宮市豊町17番地1

代 表 者： 学校長 松浦信之（マツウラノブユキ）

担 当 部 署： 校長（コウチョウ）

電 話 番 号： 0544-27-7369

F A X： 0544-22-1538

E - m a i l： jh-ni002@fujinomiya-shizuoka.ed.jp

U R L： <http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/02miya2/>